

—海外短期派遣支援事業—

## 申請書作成におけるガイドライン

### 1. 申請締切日

2018年8月31日(金)17:00 早期募集締切 期限厳守

2018年10月19日(金)17:00 最終締切 期限厳守！

締切後の提出書類はいかなる事情があっても受理しませんので、ご注意ください。

### 2. 提出物

①申請書

②留学計画書

③教員推薦書 ※教員が封をしたもの

④TOEIC 又はその他英語能力証明書写し

※大学で受験した TOEIC IP のスコアを紛失した場合は、学生課において再発行が可能ですので、早めに手続きをして下さい。手続き締切日以降は、スコアを再発行することができませんので、ご注意下さい。再発行の手続きについては、下記のとおりです。

・手続き締切:

8月14日(火)16時まで(早期募集の場合)

10月2日(火)16時まで(最終締切の場合)

・手続きに必要な物、情報: 印鑑、TOEIC IP 受験日、再発行手續負担費用 1,000 円

・担当: 学生課 教務係

【申請書・教員推薦書は word ファイルでタイピングすることも可能です。国際戦略室(osipl-global@u-aizu.ac.jp)にメールでフォーマットを依頼してください】

### 3. 提出するときの注意

◆応募の前に、募集要項を必ず読むこと。

採用後、「聞いてない」「知らない」は認められません。応募するということは募集要項を読み、内容について理解し承諾したものとみなします。分からない部分がある場合は、質問してください。

◆期限は厳守すること。余裕を持って提出する方が意欲のアピールにつながります。

◆事前に下書きを国際戦略室に持ち込み、スタッフのアドバイスをもらうことができます。ただし、期限間近になると、お断りする場合があります。事前に見てもらいたい学生は早めにお持ちください。

◆教員推薦書は早めに教員(臨時職員は除く)に依頼すること。他の学生からも依頼されている場合、断られることもあります。メールでお願いするのではなく、教員に直接伺い、留学における計画や、動機、アピールポイントを伝えた上で依頼すること。

### 4. 申請書作成時における注意

◆日本語で記入すること。

◆手書きかタイプか？

どちらがいいとは言えませんが、審査員にとって読みやすいように作成すること。

(審査員は全員の申請書を読まなくてははいけませんので)

◆ボリューム

たくさん書けばよいということではありません。適度なボリュームで、自分の主張したい内容を簡潔に書くこと。

少なすぎても、伝わる情報が不足します。書く内容を段落に区切って書くなど、工夫することが大事です。

◆誤字脱字

注意、確認をすれば防ぐことができます。それをしない＝意欲がないととられますので、提出前に何度も見直すこと。

◆大学生レベルの文章を書くよう努力すること。

一方、難しい言葉を羅列すればよいということでもありません。きちんと意味の通る文章を簡潔にまとめること。

◆審査結果の通知等はメールで通知しますので、必ず連絡がとれるメールアドレスを記載すること。

※大学のアドレスが望ましい。

◆GPA や TOEIC スコアについて、虚偽申請が発覚した場合は選考に大きく影響します。記載ミスなど絶対しないこと。大学側で内容の照合作業を行うので虚偽申請をしてもいづれはわかります。

◆JASSO の成績評価ポイントは JASSO 独自の算出方法で出されるポイントです。GPA ではありません。計算ミスをしないようにすること。家計基準については、ご家族へ確認してください。不明な部分があれば国際戦略室に問い合わせてください。

**5. 評価について**

審査員は、主に以下のことを評価します。申請書でアピールしましょう。

**目標・企画案**

具体的かつ明確な目標設定をしているか？  
実現可能性の高い目標か？  
目標に向けた企画を考えているか？

**動機**

目標につながる説得力のある動機が明記されているか？  
「なんとなく留学したい…」あやふやな動機は避ける。

**準備**

留学に向けてどんな準備をしているか？＝意欲  
普段から学内外の国際交流活動に積極的に参加し、  
英語学習に力を入れているか？

**申請書構成**

意欲＝誤字脱字もなく見やすい申請書であること。  
量や内容が適正であること。  
一生懸命さが伝わるか。他の学生と違うところ。  
文章が大学生としてふさわしいこと。

**学力**

**英語力  
(TOIEC 等)**